



宝塚大橋橋脚補修工事



見返り岩付近の擁壁工事で斜面の緑が失われた。



第6堰（甲武橋水位は連日0.6m前後で推移している）



JR下流左岸堤防法面の倒木跡の損壊状況。



南部橋架け替え工事



甲子園浜干潟再生

宝塚の見返り岩下流側の擁壁工事が行われ、緑に覆われていたの紙面が無残にも赤い地肌をさらけ出していた。販売中のマンション広告に緑に覆われた対岸の景色が描かれているのに、緑を来して買ったお客さんガッカリするのでは？

宝塚大橋右岸側橋脚補修工事が行われていた。工事現場の直ぐ上流に石を積み上げた「生」の字が明瞭に読み取れる。

武庫川流域全体に降雨が少ない日が続き甲武橋水位は連日0.6m前後で推移している。魚道を流れる程度の水量で断流とまではいえない迄も水の少ない武庫川は物足りない感じがする。しかし河川改修工事には好都合な渇水状態で、特に川を仕切って工事を行う宝塚大橋橋脚補修工事は5月末までの渇水期間に終わり工事期間中の出水リスクは少ないと思うが、工事期間が長い南部橋架け替え工事中に洪水が発生しないことを祈りたい。

南部橋工事現場でオバサンから「相当お金掛まっしゃろうな？」と声掛けられた。コスト意識もっていたのに驚いた。老朽化と河川改修に先立ち掛け替えが必要な事を説明し「生活道路と非常に大事な工事で応援して欲しい」と説明したら、これまでの不満顔から笑顔に戻って「おおきに」と礼を言って別れた。

